

熊本学園大学附属高校旧校舎、解体工事实施中!



熊本初の100トン級大型建物解体重機 導入!

当社ではこのほど、大型建物解体専用機を導入しました。スピード性が求められる大型の解体物件に適しており、工期の大幅短縮を実現します。最長38メートルまでの建物解体が可能です。

前田産業は1962年に創業し、おかげ様で今年53年目を迎えます。創業以来、さまざまな産業の発展に伴い、ビル解体と産業廃棄物処理を主業務として成長させていただいている企業です。

大地から生み出した建設物を速やかに除去し地球に還元する。あるいは新たなエネルギーに変えて再利用する。「未来に残そう自然な環境」こそ、当社が早くから取り組んできたスローガンでした。このスローガンをもとに永年培ってきた当社のノウハウが、地域社会の発展に貢献できるものと確信しております。

ビル・木造解体から産業廃棄物の収集運搬、リサイクルまで一貫した工事

ISO14001
取得

★鉄筋コンクリート造解体工事

高・中高層ビル一円の各種解体仕様重機を用意し、安全かつ効率のよい処理を行います。

★S造・SRC造解体工事

低騒音、低振動で迅速な解体作業を行い、皆様にご迷惑をいたさないよう努めております。

★木造建築解体工事

木造の解体は、ほとんどの場合狭いところでの作業です。周囲の環境に気を配り、スピーディーに解体致します。

★特殊建築物・重量物解体工事

プラント・煙突・橋・樹木伐採など、解体物の種類に合わせた弊社独自の解体テクノロジーは、高い評価を受けております。

株式会社 前田産業

代表取締役社長 木村洋一郎(6期)

本社/熊本市南区島町5丁目7番3号 TEL096-358-6600 FAX096-358-0754

(事業所:福岡支店、東京支店、東北支店、鹿児島支店、沖縄営業所、宇城事業所、人吉支店、天草リサイクルセンター)

http://www.maedasangyo.co.jp E-mail:info@maedasangyo.co.jp



▲総合評価方式で受注した農水省公務員宿舎(東京都)の解体工事。解体後、跡地は民間に売却されるという



▲前田産業の社員。中央が木村洋一郎社長

解体工事業の(株)前田産業(熊本市南区島町、木村洋一郎社長)はこのほど、東京都港区南青山にある農林水産省公務員宿舎(独身寮)の解体撤去工事を受注した。受注金額は約3億5千万円。一般競争入札の一つで、価格や品質、財務内容など30項目から落札業者を決める「総合評価方式」で受注した。同宿舎は築41年の建物で、敷地面積3211㎡、4階建て2棟・平屋1棟で、総延べ床面積が5553㎡。6

月に着工し、工期は来年3月25日まで。木村社長は「当社の技術力や会社内容が総合評価され、競合相手である大手ゼネコンとの競争入札で受注できたことは大変うれしい。関東圏では年間10億円の売上があるが、今回の大型受注で、さらなる業務拡大に弾みをつけたい」と話している。同社は1974年設立、社員数150人。今期年商は前期の49億円に対し55億円を見込む。

etc
農水省公務員宿舎の解体工事を受注
前田産業